

- 1 題材名 わが家のベストを考えよう ～ 整理・整とん ～
- 2 題材について

児童の実態

本学級の児童は、これまでの学習で、家庭には家族の生活を支える多くの仕事があることを理解し、家族の生活は、衣・食・住、家族にかかわる仕事等によって支えられていること、家庭の仕事を家族が互いに分担して行っていることを学んだ。そして、家族のために野菜を使った簡単な調理や、裁縫道具を使って簡単な小物作りを行ってきた。これまでの学習を通して、児童は、家族や家庭生活に目を向けることができるようになってきている。

整理・整とんに関しては、自分の持ち物や衣類を収納する場所に自分で片付けている児童もいるが、家族が気持ちよく生活することを意識し、整理・整とんを工夫している児童は少ない。

題材のねらい

本題材は、内容項目(6)「住まい方への関心」について、自分の衣類など身の回りの物の整理・整とんを工夫していくことをねらいとしている。ここでは、どこに何があるか分かる、すぐに取り出すことができる、空間を有効に使っているなどの視点から工夫し、家族が気持ちよく生活するために、整理・整とんを継続して実践できるようにする。そのため、家庭の仕事の分担、時間の使い方、持ち物の見直し、家族の思いなど生活に応じて工夫していくことを大切にする。児童の各家庭の生活スタイルが多様であることを踏まえながら考えを練り合い、気持ちよく生活するためにわが家の整理・整とんを工夫していくことで、児童は、家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度を身に付けていくことができると考える。

指導にあたって

◇ 問題解決的な学習

衣類の整理・整とんを考え、家庭で実践したり友達とわが家の工夫を話し合ったりしながら、自分の整理・整とんの工夫を見つめ直すことができるような題材構成を行った。

まず、児童が、実際に家庭で行われている工夫について調べ、よさや問題点を明らかにしていく中で自分の願いをもち、考えたたたみ方やしまい方を家庭で実践することができるようにする。次に、実践で気付いた一人の児童の問題点について話し合うことを通して、生活に応じて整理・整とんを行うことができるようにする。その際、多くの児童が自分の実践と関連付けて考えることができるような問題点を提起して話し合うことで、児童が、自分の整理・整とんの仕方を見直すことができるようにする。そして、見直した視点からさらに衣類の整理・整とんを工夫することで、家庭での実践に生かすことができるようにする。

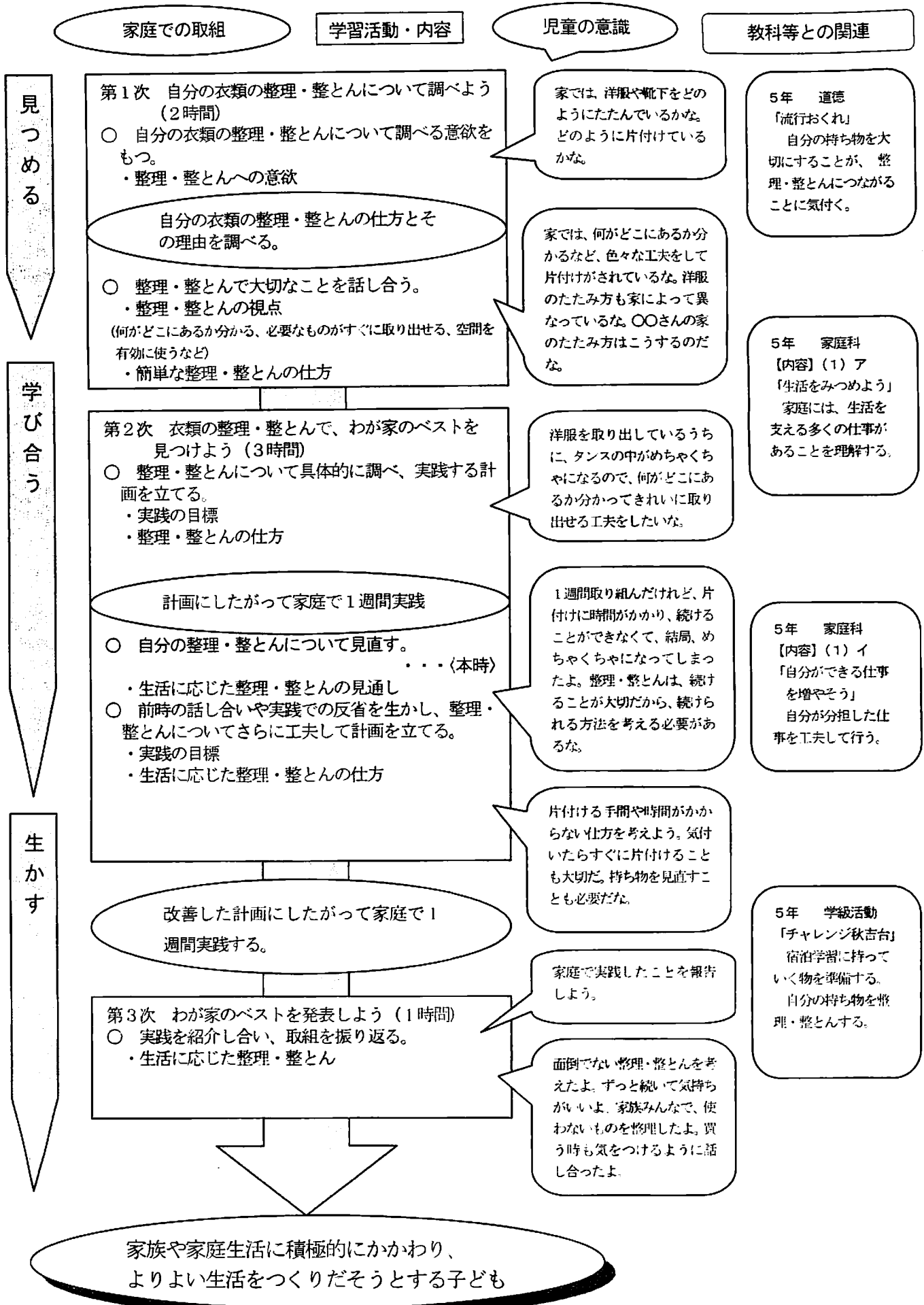
◇ 家庭との連携

家庭での取材や実践を組み込んで題材を展開していくようにした。家庭で行われている整理・整とんの仕方について調べたことをもとに学習を展開し、考えた工夫を家庭で試行し工夫を重ねながらより継続的な実践ができるようにする。

3 題材の目標

- 身の回りの整理・整とんについて関心をもつ。 (関心・意欲・態度)
- 家族が気持ちよく生活できることを意識し、生活に応じて身の回りの整理・整とんを工夫する。 (創意工夫)
- 生活に応じて身の回りの整理・整とんを行うことができる。 (技能)
- 家族が気持ちよく生活できる整理・整とんについて理解する。 (知識・理解)

4 題材構想図 「わが家のベストを考えよう ～整理・整とん～」(全6時間)



5 指導と評価の計画

【内容(6)ア】			【関】家庭生活への関心・意欲・態度	【創】生活を創意工夫する能力	【技】生活の技能	【知】家庭生活についての知識・理解
			本題材の評価規準			
			整理・整とんに関心を持ち、進んで整理・整とんを行おうとしている。	生活に応じて、整理・整とんを工夫している。	生活に応じて整理・整とんを行うことができる。	家族が気持ちよく生活できる整理・整とんについて理解している。
次	時	目標	学習活動における具体的評価規準			
第一次	1	家で行われている靴下のたたみ方を想起し、その理由を考え話し合うことを通して、整理・整とんの工夫に気付くことができる。	家で行われている靴下のたたみ方を想起し、そのよさを考えようとしている。 (発言・ワークシート)			
	2	家で調べてきた洋服や靴下のたたみ方、片付け方、そのよさ、問題点について話し合うことを通して、整理・整とんの視点に気付くことができる。			しわになりにくく、次に使いやすい方法で、洋服や靴下をたたむことができる。 (実習)	整理・整とんを工夫する視点を理解している。 (ワークシート)
第二次	3	家や資料で調べた整理・整とんの仕方などを生かして、自分の整理・整とんの計画を立てることができる。	整理・整とんの工夫について、資料を読んだり、友達に尋ねたりして、調べている。 (つぶやき・ワークシート)	整理・整とんの視点を踏まえ、自分なりの整理・整とんを考えている。 (ワークシート)		
	4 (60) 本時	A児の取組の工夫や改善点を話し合うことを通して自分の取組を見直し、生活に応じて整理・整とんを工夫する見通しをもつことができる。	生活に応じて整理・整とんを工夫する見通しをもっている。 (発言・ワークシート)			
	5 (30)	前時の話し合いや実践での反省を生かし、快適な整理・整とんを工夫する計画を立てることができる。		生活に応じて整理・整とんを工夫している。 (ワークシート)		
第三次	6	家での実践の工夫を紹介し合い、取組を振り返ってまとめることができる。			生活に応じて整理・整とんを行うことができる。 (家庭での実践をまとめたワークシート・発表)	整理・整とんを工夫する視点を踏まえ、生活に応じて工夫する大切さを理解している。 (発表・ワークシート)

6 本時の学習指導

(1) 本時の目標

A児の取組の工夫や改善点を話し合うことを通して、自分の取組を見直し、生活に応じて整理・整とんを工夫する見直しをもつことができる。

(2) 学習指導過程

学習活動・内容と予想される児童の意識	支援と評価
<p>1 家庭での実践から生まれたA児の思いを聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試行錯誤から見出した問題点</li> </ul> <div data-bbox="411 586 1241 637" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Aさんの整理・整とんの仕方を聞いて、話し合おう。</p> </div> <div data-bbox="156 652 609 984" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ダンスの中がすぐにめちゃくちゃになってしまうので、何がどこにあるか見えてすぐに取り出すことができ、しわにもならない、丸めて片付ける仕方をしました。でも、お母さんがたたんだ洗濯物を、また、自分で丸めなくてはならないので、結局、続きませんでした。簡単にできてきれいな状態が続くようなよい仕方はありませんか。</p> </div> <p>2 A児の整理・整とんの仕方について考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 効率のよい片付け方</li> <li>・ 時間の使い方</li> <li>・ 持ち物の見直し</li> <li>・ 分担する仕事の見直し</li> </ul> <div data-bbox="156 1227 603 1543" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 箱でしきりをつけたらどうか。</li> <li>・ 洋服を取り出す時に、少し、整理する時間を作ったらどうか。少しの時間でできるよ。</li> <li>・ あまり着ない洋服は、誰かにあげたりして、持たないように話し合ったらどうか。</li> <li>・ 洗濯物をたたむことも自分でしたらどうか。</li> </ul> </div> <p>3 話し合いを振り返って自分の取組を見直し、次の実践への見直しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活に応じて整理・整とんを工夫する見直しの視点</li> </ul> <div data-bbox="164 1769 603 1875" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時間の使い方、持ち物の整理、自分や家族の仕事の見直しなども考えて、片付け方を工夫しよう。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整っている状態が継続しないで困っている児童を第一発言者とするこ とで、継続できるための工夫について話し合いを焦点化する。</li> </ul> <div data-bbox="411 586 1241 637" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Aさんの整理・整とんの仕方を聞いて、話し合おう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A児の願いと継続できない要因を引き出すことで、A児の取組を具体的にイメージすることができるようにする。</li> <li>・ 問題点や願い、整理・整とんの仕方などで共通点をもつ児童を語らせることで、自分の実践とつなげて考えることを促す。</li> </ul> <p>〈発〉 Aさんが、整っている状態を続けることができるようにするには、どうしたらよいか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何がどこにあるか分かる、すぐに取り出すことができる、空間を上手に使っている、整理されて気持ちが良いなどの視点を踏まえて考えさせる。</li> <li>・ 自分の考えと理由を明確にした後、グループで片付け方を試してみながら話し合い、ホワイトボードに工夫を書かせて発表させることで、多様な考えに気付くことができるようにする。</li> <li>・ 質問や疑問を出し合わせたり、対立点に焦点を当てて考えさせたりすることで、互いの考えを深められるようにする。</li> <li>・ 時間の使い方、持ち物の見直し、自分の仕事の見直しなど、片付け方以外のことにも目を向けて考えている児童に詳しく語らせることで、広く生活を見つめて考えることができるようにする。</li> </ul> <p>〈発〉 話し合いを振り返り、自分の取組に生かしたいこと、大事ななど思ったことはどんなことか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続して実践できるための視点から具体的に生活を見つめてまとめさせ、次の実践への見直しをもつことができるようにする。</li> </ul> <div data-bbox="694 1758 1369 1847" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〈評〉 生活に応じて整理・整とんを工夫する見直しをもっている。</p> </div> <p style="text-align: right;">【関心・意欲・態度】(発言・ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A児の思いを語らせることで、話し合いのよさを感じさせる。</li> </ul>